

平成22年10月6日

記者発表資料

1 件名	「後期高齢者医療被保険者証の返却のお願い」の誤送付について
2 概要	「後期高齢者医療被保険者証の返却のお願い」を発送したところ、被保険者（A様）から、封筒を開封したら本人分の通知以外に、他の被保険者（B様）の通知が入っているとの連絡があり、文書を誤送付したことが判明しました。 ※この文書は、負担割合の変更などにより被保険者証を更新した被保険者の方で、更新前の被保険者証が未返却となっている方へ、広域連合へ返却を依頼する内容となっています。
3 誤送付件数	1件
4 経過	(1) 平成22年10月1日（金） 広域連合事務局から対象の被保険者（5,861名）に「後期高齢者医療被保険者証の返却のお願い」を送付（普通郵便） (2) 10月5日（火） 被保険者（A様）から、封筒を開封したら本人分の通知以外に、他の被保険者（B様）の通知が入っているとの連絡があり、文書を誤送付したことが判明しました。 同日、連絡をいただいた被保険者（A様）に本件の内容及び経過を説明し、お詫びいたしました。また、広域連合から誤送付した文書を回収しました。 (3) 10月6日（水） 被保険者（B様）に本件の内容及び経過を説明し、お詫びいたしました。
5 記載されていた個人情報	住所、氏名、被保険者番号、医療機関等受診時の一部負担金の割合
6 原因	文書数、封筒数チェックの手順を怠ったことにより、文書を封入封緘する際に、誤って文書を2通入れてしまったことに気付かず発送してしまった。
7 再発防止策	郵送物の誤送付を防止するため、今後、封入封緘作業を行う際には、複数職員により、文書数、封筒数のチェックを確実に行うよう指導を徹底してまいります。

(問い合わせ先)

神奈川県後期高齢者医療広域連合

業務課長 深澤 公喜

TEL 045(440)6713

業務課資格係長 松島 政幸

TEL 045(440)6704